

# TOKYO 東京ブロック「課題活動」交流会 活動ひろば



開催日：10月12日（土） 13:00～18:00

会場：東洋大学 朝霞キャンパス 生協食堂

参加対象：東京ブロック会員生協にて、組合員活動の主体となっている方/組織委員会に所属している学生院生・教職員や総代などで、生協で組合員活動を行っている方/その他専務が認められた方

参加実績：合計 98人 19大学

他 学生事務局21人 職員事務局12人

## 開催概要

●東京ブロック方針に沿って推進している各課題の活動を持ち寄り、東京ブロックの学生が主体となって作り上げる連帯の場として開催。課題となるテーマは重要と思われるテーマやその年に必要なテーマを考え設定しています。今年度は「新学期」「共済」「平和国際」「激甚災害・防災」「生協広報」「店舗食堂」「機関運営」「環境」「消費者」の9つのテーマを分科会のテーマとし、前半・後半に分けて参加者同士で考えあい、学びあい、ここで得た活動のヒントを持ち帰り、今後の自大学での活動に活かしていけることを目指しました。

|       |       |   |
|-------|-------|---|
| ▽     | 12:30 | 受付  |
|       | 13:00 | 開会式   |
| プログラム | 13:30 | 分科会前半「新学期」「共済」「平和国際」「激甚災害・防災」「生協広報」   |
|       | 14:40 | 移動休憩  |
|       | 14:55 | 分科会後半「店舗食堂」「機関運営」「環境」「消費者」「生協広報」  |
|       | 16:10 | 移動休憩&活動交流会テーマ発表   |
| △     | 16:30 | 活動交流会 フリーセッション「おもしろひとことカードコンテスト」「憲法96条改定について話そう!」「店舗見学ツアー」「広報活動コンテスト」「消費者課題」「全国の取り組み」 |
|       | 17:30 | 閉会  |

## 消費者分科会 14:55～16:00 ～交流から消費者問題について考えよう～



### ■消費者課題を設置目的と大学生協が取り組む意義 5分

- ①消費者課題設置の意義・概要と消費者被害の実態を知ることができる。
- ②「主体的に生き、賢い判断ができ、よりよい社会生活ができるような社会人が増える」取組を考えることができる場を設定する。

消費者被害減少 onry ではなく、課題に関心を持って自立した社会人生活を送るために必要な知識を今身につけよう。と運営からのお話がありました。

### ■展開 1 35分

#### ◆学生のワンクリック詐欺 本人体験談お話：千葉えりささん



インターネット上でついうっかりアダルトサイトに飛ぶところをクリックしてしまい、悪徳業者から会員登録完了してるので会費12万円を支払うようにと電話がかかってきた体験談。パニック状態で誰にも相談できずに奔走する様子や、支払う直前で冷静になり、専門家への相談から支払いせず済んだ体験を通して、誰にでも身近に潜む消費者被害への警鐘と、一人で悩まず絶対相談!!と強く呼びかけた。

千葉さん

## ◆自立した社会人生活を送るために～大学生のうちを知っておきたい消費者課題

講師：富永智恵美（生活サポート生協東京・相談員）  
中根康子（生活サポート生協東京）



富永氏

富永氏から、大学生に多い消費者被害として、「いいアルバイトがある」「無料でメイクアップアーティストのメイクが受けられる」「SNS で出会った人と実際に飲み会で会って勧誘される」「海外スポーツ賭博でひと儲けの後出しマルチ」など、実際に相談のあった事例や、スコーカー被害に実際あってしまった場合や、PC に貼りついて消えない画面の対処法などをお話していただきました。

中根氏からは、社会人となった時に、暮らしの中で知っておきたいこととしてクレジットカードは信用と引き換えにカード会社から借りているものであることから、管理責任について、メリット、デメリット、また最近よく聞かれるリボ払いの怖さ、支払いを滞ると載るブラックリストの情報は、そのカード会社だけでなくすべてのカード会社が共有できるものであることなど支払いに対するモラルについてのお話しもしていただきました。最後に、これから社会人になって給料をもらうようになった時のお金の管理について、7年後のオリンピックの時の自分の暮らし方をどう想像するか自律した社会人生活を考えてみようとお話しされました。



中根氏

## ■【展開Ⅱ】30分 + 活動交流会 フリーセッション「消費者課題」60分

### ◆交流1話を聞いてどう思ったか。心に残ったフレーズやキーワードは？

- \*ワンクリック詐欺など自分が思っている以上に身近にあるものなのだと感じました。(十文字・1年)
- \*トラブルにあったときは、迷わず相談する。アルバイトでのお金のことについて。(山梨・1年)
- \*実際の被害を受けた人の話を聞いて当人になったら訳が分からなくなってしまうんだろうなと思いました。なので自分になったら周りに相談しようと思いました。(東京電機・1年)
- \*消費者被害を知ること、友達や周囲の人に知ってもらいたいと思った。(明治学院・2年)
- \*とにかく何かあったら相談し、正しい知識をつけた方が良い。(千葉商科・1年)
- \*より多くの消費者被害を知り、その情報をもとに解決策をみつけておきたいと思った。奨学金を借りている友達にブラックリストの話をしておきたい。(足利工業・1年)
- \*犯罪に対する知識だけではなく、危機感を持つことが大切。(千葉商科・1年)
- \*まず相談すること、知らせること(東京農業・1年)
- \*詐欺やクレジットの知識を色々な人に伝える機会がもっと必要。(東邦・1年)
- \*大学に入ってから、社会人になってから、お金というものに慎重にならなければいけないと感じた。これをどんどん発信していきたい。(明治学院・1年)

### ◆交流2 社会生活を送る上で必要なことや、自分たちがだれに対して何ができるかなど

- \*ポスターやチラシでの危険性の呼びかけ(奨学金返済のことについてなど)(十文字・1年)
- \*定期冊子でのページ特集(山梨・1年)
- \*ビラ配りなど(山梨・1年)
- \*新入生に向けた消費者活動の課題(東京電機・1年)
- \*消費者教育(明治学院・2年)
- \*クレジットカードの危険性を教える。(千葉商科・1年)
- \*自分が被害者や加害者にならないようにするためにはどうしたらいいかなどの相談会(千葉商科・1年)
- \*新歓冊子に消費者課題について書きたい。(足利工業・1年)
- \*今日学んだ消費者における知識を広める。危機感(千葉商科・1年)
- \*新入生に大学に入ってから危険を知らせる(新入生歓迎冊子、新入生歓迎会)(東京農業・1年)
- \*在学学生に、社会にでてからのことも足して知らせる。(機関誌など)(東京農業・1年)
- \*大学の新生向け冊子に、身の周りの危険をのせたらよいかと思いました。(東邦・1年)
- \*情報の発信、身近な問題であるということ伝える。(明治学院・1年)

※活動交流会・フリーセッション「消費者課題」は「展開Ⅱ」と内容が同じでメンバーチェンジしただけなので一緒に記載しています

### ◆大学生協の総括より◆

目的①の達成度は高い。特に消費者教育という概念の大切さを事例や大学生・社会人の観点から知ることができた参加者が多かったと見受けられることができる。特に消費者教育という概念の大切さを事例や大学生・社会人の観点から知ることができた参加者が多かったと見受けられることができる。

目的②は高い達成度を得ることはできなかった。要因としては、そこに費やすことのできた時間が少なかったという点、参加者単位と参加者同士で学び合う提起・コンテンツ作りが甘かったためと考える。対応策としては、学習的要素を踏まえて、目的性のあるワークショップの導入を入れることができればよかった。